

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所理念は施設内に掲示し、職員間で共有を図っている。入職時には理念の説明を行い、事業所の基本方針の理解を促している。また、理念に基づき毎年度施設の年度目標を設定し、事業運営に反映している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域行事である神服神社例大祭において神輿担ぎに参加するとともに、休憩場所として施設敷地を提供している。また、地区合同防災訓練に参加し、訓練会場として施設敷地を提供するなど、地域防災活動に協力している。地域交流室では、介護予防を目的としたマイスターサロン「もてきん体操」に利用者が参加し、発表会や地域イベントにも積極的に参画している。さらに、小学校の町めぐり体験学習の受け入れや、民間学童保育の利用者との交流を行い、地域とのつながりを深めている。秋祭りに地域方のボランティア参加・地域住民向けに「あいわフェア」を開催した。	神服神社大祭などの地域行事への参加により、普段は面会の機会が少ない小学低学年や幼稚園児などの家族と入居者が交流できる機会が設けられており、本人および家族にとっても喜ばしい取り組みとなっている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	概ね2か月に1回、運営推進会議を開催し、イベントや行事の様子を映像等を用いて情報共有している。会議では、事業所内で発生した事故やヒヤリハットの事例を報告し、それらを通して課題や取り組みについて説明することで、事業所の現状について理解を深めていただくよう努めている。また、参加者からの意見を積極的に取り入れ、サービスの質の向上につなげている。さらに、家族からの要望を受け、家族同士の意見交換の場として、3月18日に家族懇親会を開催した。	隔月で開催されている運営推進会議において、施設の様々な取り組みについて分かりやすく説明がなされており、大変参考になっている。運営や活動内容への理解が深まり、参加者にとって有意義な機会となっている。		
4	市町村との連携	市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議での報告に加え、事故発生時の報告や困ったこと、わからない事・苦情があった時など、様々な事例の相談を行い常に連携をとるようにしている。地域包括支援センターの方や認知症地域支援推進員の方にも参加してもらい、意見や助言をいただいている。	隔月で開催されている運営推進会議において、施設の様々な取り組みについて分かりやすく説明がなされており、大変参考になっている。運営や活動内容への理解が深まり、参加者にとって有意義な機会となっている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束廃止マニュアルを整備・周知し、年1回の見直しと研修を実施している。また、2か月に1回委員会を開催し、不適切ケア防止に向けたカンファレンスや代替ケアの検討を行っている。開設以降、身体拘束は行っておらず、相談窓口の設置や他施設事例の検討を通じて予防に努めている。身体拘束ゼロ推進員養成研修終了者を配置している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議におけるスライド資料や説明内容から、事業所の運営や取り組みについて十分に情報提供が行われていると感じる。約1年数か月の入居期間において、本人を含め、他の入居者についても身体拘束に該当するような対応は見受けられていない。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束廃止マニュアルを整備・周知し、年1回の見直しを行っている。また、毎年2回以上の倫理・虐待防止研修を実施し、職員の理解向上に努めている。2か月に1回身体拘束・虐待防止委員会を開催し、情報共有やカンファレンスを通じて不適切ケアの防止と虐待防止の徹底を図っている。相談窓口を設置するとともに、他施設の事例を踏まえた予防策の検討を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議においては、随時報告が行われており、提示されているスライド資料や説明から、事業所の取り組みは概ね適切に実施されていると感じる。一方で、職員間での理解や対応の実際の浸透度については、外部からは把握しにくい面もあり、その点については評価が難しい部分もある。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	勉強会を実施するとともに、eラーニングにより常時学習できる体制を整えている。また、個々の必要性について関係者とリーフレット等を用いて共有・検討を行っている。成年後見制度について職員研修を行い、必要時に適切に対応できる体制を整備している。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時には、契約書および重要事項説明書の内容について説明を行い、質問には丁寧に対応している。利用料金については、見学時および契約時に説明を行い、同意を得たうえで契約している。また、料金等の改定時には事前に説明を行い、同意を得ている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族の面会時には、日頃の生活や支援の様子をこまめに報告し、要望や意見を聞き取るよう努めている。また、運営推進会議等の場において、利用者・家族からの意見を職員および外部者と共有し、意見交換を行いながら、サービスの改善や運営に反映させている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	面会時には看護師から病状の変化について説明があり、また施設ケアマネジャーや介護職員からも日常の様子や気付いた点について情報提供がなされており、安心して任せることができている。運営推進会議での説明に加え、実際に訪問した際の受付対応や関係職員の対応についても、いずれも丁寧に適切であり、感謝している。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年3回、役職者による職員個別面談を実施するとともに、必要に応じて随時面談を行っている。また、ミーティングや各種会議、委員会活動を通じて意見交換の場を設け、職員からの意見や提案を可能な限り運営に反映し、職員のモチベーション維持・向上につなげている。利用者・職員がともに参画できる運営を推進し、事業所理念と職員の意見を基に、毎年度の施設目標を策定している。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	処遇改善加算制度を活用し、毎年目標管理に基づく人事評価を行い、給与や賞与へ反映している。また、進路調査や面談を通じて職員の意向や状況を把握し、必要な対応を行っている。職員が利用者とともに参加・楽しめるイベントの開催や、有給休暇の取得を推奨し、働きやすい職場環境づくりに努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	詳細な制度内容までは十分に把握できていないものの、運営推進会議での説明や、訪問時における職員の対応状況から、事業所の運営や取り組みは適切に行われていると感じる。また、職員の入れ替わりが少なく、継続して同じ職員が働かれている点からも、安定した支援体制が維持されていると考えられる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	技術水準および知識向上を目的に、法定研修に沿った施設内勉強会を実施している。また、今年度は職員の得意分野を活かした介護技術勉強会を年3回開催した。法人が整備する人材育成制度である介護職員ラダーを活用し、計画的な研修を実施するとともに、職員の希望に応じた資格取得支援を行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	他のグループホームから転居してきたが、現在の事業所においてはケアの質が高く、安心して任せられる体制が整っていると感じている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者が法人療養科長会への陪席参加や、感染認定看護師主催の感染情報交換会等に参加し、情報共有に努めている。また、法人の介護職員キャリアラダーに基づく集合研修や外部研修への参加機会を確保している。さらに、高槻市介護事業者協議会での情報交換や、地域の在宅プロジェクト開催支援に取り組み、地域連携の強化を図っている。		

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は共同生活者の視点を大切に、入居者の表情や様子を観察しながら関わっている。洗濯たたみや食器洗い、作品づくり等の生活活動については、入居者同士でも取り組めるよう職員が仲介している。また、あいわ喫茶への参加や歌唱・体操等の活動、2か月に1回のおやつレクリエーションを実施し、可能な範囲で主体的な参加を促している。これらの取り組みは年度目標に位置づけ、継続的に実践している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	8月より面会の時間制限を廃止し、地域の感染症発生状況を踏まえながら柔軟に対応している。また、グループホーム高槻あいわ・ケアハウス高槻あいわ合同で、秋祭りや運動会など家族も参加できる行事を開催している。家族との外出機会の確保にも努め、地域の図書館への外出や外食等を楽しめるよう支援している。安心して外出できるよう事前調整を行い、必要に応じて職員が外出支援を実施している。	面会のたびに、本人が穏やかで楽しそうに過ごしている様子が見られる。職員は明るく丁寧な対応を行っており、安心して生活を任せられる環境が整っていると感じている。本事業所を選択して良かったと考えている。		詳細な制度内容までは十分に把握できていないものの、運営推進会議での説明や、訪問時における職員の対応状況から、事業所の運営や取り組みは適切に行われていると感じる。

II その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居前の聞き取り情報に加え、日頃の会話を通じて本人の気持ちや心身の状態を把握するよう努めている。把握した内容はチームケア会議で共有・記録し、支援の実践につなげている。また、安心して過ごせる環境づくりに配慮するとともに、体調に応じて適宜休息の時間を確保している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	電子カルテを活用し、チームで検討した内容を全職員で共有することで、利用者に適したケアの提供につなげている。家族の面会時には、日頃の生活や支援の様子を報告するとともに、要望や意見の聞き取りを行っている。また、定期的にACP(人生会議)の機会を設け、利用者・家族の意向を確認し、支援計画書に反映している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常の状況や対応については、電話により適宜連絡があり、十分な情報提供がなされていると感じる。トイレの回数や時間帯などについてもデータとして管理され、ケアに適切に活かされている。また、職員間で入居者や家族の要望等が共有されており、家族として安心して任せることができている。今後も引き続き、日常の様子について情報提供をお願いしたい。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	電子カルテを活用し、職員間で日常的に情報共有を行っている。入居者の生活の中で気になる点や課題については、職員間で共有しながらケアの検討や振り返りを行い、より良い支援につなげている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ケアプランについて適切に立案されている。職員間で入居者および家族の要望等が共有されており、家族として安心して任せることができている。今後も引き続き、日常の様子について丁寧な情報提供をお願いしたい。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族の面会時には、日頃の生活や支援の様子を伝えるとともに、家族の要望や意見を聞き取り、より良いケアにつながるよう提案を行っている。家族の協力を得ながら柔軟に対応し、その内容は記録に残して職員間で共有し、支援に活かしている。	日常の状況や対応については、電話やメールにより適宜連絡があり、十分な情報提供がなされていると感じる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの生活歴や意向を踏まえ、協力医療機関等と連携するとともに、地域行事への参加、花見や紅葉狩り、地域への散歩などの外出支援を行っている。また、介護予防マイスターサロンへの参加や、あいわ保育園との交流を通じて地域住民とのつながりを深めている。	日常の状況や対応については、電話やメールにより適宜連絡があり、十分な情報提供がなされていると感じる。		隔月で開催されている運営推進会議において、様々な取り組みについて分かりやすく説明がなされており、大変参考になっている。参加者にとって理解しやすく、有意義な意見交換の場となっていると感じる。

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居前には協力医療機関を受診し、入居後は週1回の訪問診療を受けるとともに、緊急時には医師と連携できる体制を整えている。また、入居前からのかかりつけ医師や歯科医師の継続についても、本人・家族の希望に応じて柔軟に対応している。さらに、本人および家族の意向を確認しながら、必要に応じて専門医療機関への受診支援を行っている。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院中の医療機関の地域連携室と定期的に連絡を取り、入居者の状態確認を行っている。また、利用者・家族の同意のもと、医療機関と必要な情報を相互に共有している。法人高槻地区の事業所間情報交換会等にも参加し、医療機関を含めた関係機関との連携強化を図っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	しんあいクリニックの訪問診療と連携を図りながら、適切に健康管理が行われている。突発的な事案に対しても早期対応がなされており、安心して任せられることができている。また、母は入退院の実績はないものの、運営推進会議等での説明内容から、医療連携や対応体制については十分に整えられていると感じる。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時には説明を行い、入居後に病状等の変化があった場合には、家族・主治医・訪問看護師・施設職員が連携し、適宜カンファレンスやIC、ACPの機会を設けて情報共有を行っている。本人・家族の意向を踏まえながら協議し、今後の支援の方向性を決定している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	看取りへの対応が可能であることを理由に本事業所へ転居しており、その方針や対応内容については文書でも説明を受けている。また、3月18日に開催された運営推進会議後の家族懇親会を通じて、看取りに関する考え方や対応が望ましいものであることについて、理解を深めることができた。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎年度、有資格者職員による救命救急講習を実施するとともに、年2回の安全管理研修を行っている。今年度は、搬送時の対応および応急処置をテーマとした研修を実施した。また、急変時対応マニュアルや事故発生時対応マニュアルを毎年整備し、定期的な研修を通じて職員の理解を深め、安全な対応の徹底を図っている。		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	BCP計画を整備し、昼夜異なる時間帯での消防訓練を年2回実施するとともに、水害を想定した避難確保訓練を年1回行っている。また、災害対策備品の整備や避難ルートの施設内掲示を行い、地域の防災会議や防災訓練への参加を通じて地域との連携体制を構築している。加えて、高槻市内の防災研修への参加などにより知識の向上を図り、今年度はBCPIに基づく災害食提供訓練を実施した。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	災害への備えとして、定期的に訓練を実施していただけることは非常に心強く安心していきます。隔月の運営推進会議での説明から十分に行われていると思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの人格や尊厳を尊重し、誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応を行っている。本人が持つ生活のペースを大切に、必要に応じて職員が関わりながら、その人に合ったペースを調整し、状況に応じた見直しを行っている。また、できることの維持や、興味・関心を活かした支援を取り入れ、個別性を重視した支援につなげている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者一人ひとりの状況に応じた対応が行われており、本人にとってより良い支援となるよう配慮されていると感じる。また、日常の状況や対応については、電話により適宜連絡があり、十分な情報提供がなされている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員の都合を優先せず、利用者一人ひとりの希望や生活のペースを尊重した支援を行っている。本人のペースを大切に、必要に応じて職員が関わりながら調整・見直しを行い、できることの維持や興味・関心を活かした支援につなげている。		

28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食前に口腔体操を実施し、食事の盛り付けは各フロアで行い、食後の食器洗いなどは入居者に役割を持って実施してもらっている。調理師による実演を取り入れた握り寿司やステーキイベントなどいつもと違う場所で雰囲気を変えて楽しんでもらえるよう工夫をしている。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	歯科検診への対応や、運営推進会議等で紹介される各種行事を通じて、入居者が楽しめるような様々な工夫がなされていると感じる。入居者が喜んでいる様子を写真等で確認でき、安心感につながっている。 また、嚥下機能等について不安が生じた際には、主治医と連携しながら対応が行われており、適切な医療相談体制が整えられている。 食事についても、家族では分かりにくい点を丁寧に説明してもらい、本人が食事を楽しめるよう工夫がなされており、大変助かっている。 一方で、今後の食事能力の低下に伴う支援体制については、引き続き配慮を期待したい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事量や栄養バランス、水分量が確保できるよう、管理栄養士や言語聴覚士と連携し、食事状態や食事形態の評価を行っている。また、食事量や水分摂取量を記録し、利用者一人ひとりの状態に応じた食事の工夫を行うとともに、家族の協力を得て嗜好品を取り入れるなど、楽しみのある食支援につなげている。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	口腔内の清潔保持を目的に、毎食後、利用者一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じてケア用品を選定し、職員とともに口腔ケアを実施している。また、必要に応じて歯科往診を調整し、歯科医師からの助言・指導を日々のケアに反映している。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入れ歯の破損時には、修理期間中の食事内容を調整するなど、状況に応じた丁寧な対応が行われており、適切な配慮がなされていると感じる。また、歯科検診も継続して行われており、本人自身も毎食後の歯磨きに取り組むなど、口腔環境の維持に向けた支援がなされていると考えられる。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりのADLや尿量、排泄パターンを踏まえ、過剰なおむつやパッドを使用しないよう配慮している。自ら尿意を伝えることが難しい利用者に対しては、適宜声かけや日常の様子を観察を行い、トイレでの排泄につなげている。また、今年度はベッド上での排泄介助に関する勉強会を実施し、排泄支援の質の向上に取り組んでいる。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄の状況やパターンについて職員間で共有がなされ、それに基づいた対応が行われている。また、本人の意向や特性に配慮しながら、時間ごとの声かけ等により、可能な限り自立してトイレに行けるよう支援が行われている。
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に合わせた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人ひとり週2回以上マンツーマンで個浴による入浴支援を行っている。体調不良時や気分に応じて入浴日や時間を変更するなど、柔軟に対応している。また、天候の良い日には屋外の足湯を活用し、歓談を通じてリラックスできる環境づくりにも取り組んでいる。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの生活習慣や状態に合わせて、起床時間や就寝時間を固定せず、個々のペースを尊重した支援を行っている。生活リズムを整えることが難しい利用者に対しては、日々の様子を観察し、職員が関わりながらその人に合ったペースづくりを行っている。また、居室には馴染みの物品を配置したり、ベッドの位置を調整するなど、安心して休息・睡眠がとれる環境づくりに配慮している。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は、利用者が使用している薬の目的や副作用について理解を深め、適切な服薬支援と症状の変化の確認を行っている。処方内容は、必要時にすぐ確認できるよう管理している。また、看護師を配置し、睡眠薬・抗不安薬・下剤等について心身の状態を踏まえて医師へ相談を行い、指示のもと処方内容の見直しを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内服管理については、看護師から介護職へ適切に申し送りが行われ、施設ケアマネジャーも状況を把握している体制が整えられており、安心して任せられている。また、本人の状態を確認しながら主治医と連携し、必要に応じて薬の調整が行われている。運営推進会議におけるヒヤリ・ハット事例の説明からも、服薬量の多寡に関わらず、個々の状況に応じた適切な対応がなされていると感じる。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの生活歴や嗜好を踏まえ、将棋や散歩、家事（掃除・食後の後片付け等）など、得意なことや好きなことを活かした役割を持てるよう支援している。また、書道クラブへの参加支援や、誕生日には飾り付けやプレゼントを用意し、皆でお祝いするなど、楽しみや気分転換につながる機会を大切にしている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者が楽しめるよう様々な行事や催しが企画されており、本人だけでなく家族にとっても満足度の高い取り組みが行われていると感じる。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの希望に沿って、散歩や花見、紅葉狩りなど、季節を感じられる外出支援を行っている。また、毎週水曜日には敷地内の足湯を利用し、気分転換につながる機会を設けている。家族から自宅への外出希望があった場合には、連携を図りながら外出できるよう支援している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	隔月で開催されている運営推進会議において、様々な取り組みについて分かりやすく説明がなされており、大変参考になっている。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	金銭管理が難しい利用者については、日常的に現金は所持していないが、本人の希望を尊重し、要望があった際には家族の協力を得ながら、嗜好品や日用品を購入できるよう支援している。本人が選択し、使う機会を持てるよう配慮している。 □	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者が希望されればいつでもご家族へ電話が出来るようにしている。携帯電話やタブレットを持参しておられる方もおり、適宜充電を行い、好きな時に電話をされている。手紙に関しては希望があれば書くようにしているが、現在希望は聞かれていない。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	季節ごとの装飾を利用者とともに作成し、室内でも季節を感じられる環境づくりを行っている。また、歌謡曲や将棋、体操など、利用者が好まれる内容を取り入れ、職員も一緒に過ごすことで、安心して楽しめる共用空間となるよう工夫している。室温管理や生活音以外のノイズを抑えるなど、不快や混乱を招かない環境づくりにも配慮している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常生活においては、季節感を取り入れた環境づくりが工夫されており、歌や体操を定期的に行なうなど、入居者が笑顔で過ごせるよう配慮がなされている。生活環境は良好に保たれており、介護職員による見守り体制についても、状況が把握しやすい配置となっている。また、居室や共用部分に写真を掲示するなど、日々の様子が分かる工夫がされており、安心感につながっている。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）						
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	意思表示ができる利用者については、本人の意向に沿った暮らしができるよう支援している。意思表示が難しい利用者については、家族から嗜好や生活習慣等を確認するとともに、表情や行動から本人の思いを汲み取り、日々の生活支援に反映している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時のアセスメントをもとにケアプランを作成し、生活歴や暮らしの習慣、人間関係等の情報を職員間で共有している。また、日々の様子を踏まえ、必要に応じてテーブル座席の位置を調整するなど、利用者同士の関係が良好に保てるよう配慮している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	看護師を配置し、介護職と連携しながら、利用者の日々の健康状態を把握し、健康維持に努めている。また、週1回の訪問診療を受けるとともに、必要時には速やかに診察を受けられる体制を整えている。居室内で安全に過ごせるよう環境整備を行い、必要に応じて家族の協力を得ながら手すりの設置等を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人に対して十分な配慮と支援がなされており、同様の対応が他の入居者にも行われていると感じる。看護師が配置されていることで医療面における安心感があり、日常的に足の運動など、身体機能の維持に向けた取り組みも継続して行われている。状態に変化があった際には速やかに連絡があり、対応内容についても丁寧な説明がなされている。医療機関との連携についても適切に図られていると感じる。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	読書や将棋などの趣味活動や、掃除や食後の後片付けといったこれまでの生活習慣について聞き取りを行い、本人のペースを大切にしながら、施設内でも継続して行えるよう支援している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時には、自宅で使用していたなじみのある物や大切にしている物を持参していただき、本人が安心して過ごせる環境づくりに努めている。また、希望がある場合には、面会時に家族へ依頼するなど、随時対応している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常的に使用している椅子の持ち込みについても事前に連絡があり、入居者の所有物について適切に確認がなされている。特段こだわりのある物品の持ち込みは行っていないが、本人や家族の意向を確認せずに処分されることはなく、安心して過ごせていると感じる。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の意向や希望に応じて、家族とともに近隣の図書館や美容院、散歩などの外出を行っている。また、地域の祭事や花見・紅葉ドライブなどの季節行事に参加しており、今年度は古晋部防災公園体育館で開催された「もてきんフェスティバル」にも参加した。	戸外での活動状況については十分に把握できていないものの、日常的に足の訓練等が行われており、身体機能の維持に向けた支援が適切に実施されていると感じる。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	洗濯物は個々の能力に応じてタオルや靴下、衣類の交換は出来る範囲で行ってもらっている。調理訓練ではみんなが作業できるよう工程を工夫し、得意なところは積極的に率先して行ってもらっている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎日、レクリエーションや体操を行い、利用者同士や職員との会話や交流の機会を持てるよう努めている。毎月の書道クラブでは書道に親しみ、作品を施設玄関に展示することで、達成感や会話につながっている。また、あいわ喫茶や調理レクリエーションでは、好きな歌と一緒に歌ったり、ダンスや調理に参加するなど、いきいきとした活動の場を得ている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入所前は人前では無口で消極的な様子が見られていたが、入所後約半年を経て、表情が柔らかくなるなど前向きな変化が見られている。入居者のみならず、家族や地域住民も参加できるレクリエーションが企画・実施され、交流の機会が継続的に設けられている。また、本人の気分や状態に配慮しながら、無理のない形で参加を促す工夫がなされており、体操やお茶会などの活動にも継続して参加できている様子がうかがえる。写真等を通じて、楽しそうに過ごしている様子が確認でき、安心感につながっている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人のペースや特性に配慮しながら、行事を通して地域の方やあいわ保育園の園児、ボランティアとの交流の機会を持てるよう支援している。	所内で実施されている各種イベントに積極的に参加している様子が見られ、安心して任せられると感じる。		

49	総合	<p>本人は、このGH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>利用者同士が顔なじみの関係を築くとともに、職員との関わりの中で、日々安心して過ごされている。 また、一人ひとりの生活上の課題に対して、本人や家族の意向を反映しながら、よりよい生活につながるよう取り組んでいる。</p>	<p>他のグループホームから転居してきたが、本事業所を選択して良かったと感じている。面会時には穏やかな表情で過ごしている様子が見られ、安心している。 職員による支援や関わりにより、同様の生活環境で過ごす入居者と共に、日々楽しみながら生活できていると感じる。</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>職員との関係は良好であり、親切で丁寧な支援が行われていると感じる。 入居者同士の関係については詳細までは把握していないものの、家庭で一人で過ごすよりも、安心感のある環境の中で、他の入居者と共に落ち着いて生活できていると感じている。</p>
----	----	--	---	--	---	---	---